

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 14 日(2022.1.14)

【公開番号】特開 2021-138083(P2021-138083A)

【公開日】令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報 2021-044

【出願番号】特願 2020-38886(P2020-38886)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/337(2006.01)

B 4 1 M 5/44(2006.01)

B 4 1 M 5/41(2006.01)

C 0 8 F 265/06(2006.01)

C 0 8 F 2/24(2006.01)

C 0 8 F 2/44(2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/337 2 3 0

B 4 1 M 5/44 2 2 0

B 4 1 M 5/41 2 0 0

C 0 8 F 265/06

C 0 8 F 2/24 A

C 0 8 F 2/44 C

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 5 日(2022.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

< ( a 2 ) アルコキシシリル基及びエチレン性二重結合を有する単量体 > について  
アルコキシシリル基及びエチレン性二重結合を有する単量体とは、乳化重合反応によって得られる水性樹脂エマルション樹脂に、アルコキシシリル基を付与することができる化合物をいい、本発明に係る水性樹脂エマルションを得ることができるものであれば特に制限されるものではない。

アルコキシシリル基及びエチレン性二重結合を有する単量体は、アルコキシシリル基とエチレン性二重結合を共に有し、アルコキシシリル基とエチレン性二重結合は、例えば、エステル結合、アミド結合及びアルキレン基等の他の官能基を介して結合してよい。

ここで「アルコキシシリル基」とは、加水分解することによってケイ素に結合するヒドロキシル基 ( S i - O H ) を与えるケイ素含有の官能基をいう。「アルコキシシリル基」として、例えば、トリメトキシシリル基、トリエトキシシリル基、ジメトキシシリル基、ジメトキシメチルシリル基、ジエトキシシリル基、モノエトキシシリル基、及びモノメトキシシリル基等のアルコキシシリル基を例示できる。特に、トリメトキシシリル基及びトリエトキシシリル基が好ましい。

10

20

30

40

50